

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成30年11月23日実施）

塩谷町鳥羽新田地区「イノシシ・シカ等獣害防止柵設置作業」

とちぎ夢大地応援団活動が塩谷町鳥羽新田において11月23日、夢大地応援団員41名、地元鳥羽新田農地保全委員会（田中良一会長）会員22名が参加して行われ、イノシシやシカ等獣害を防ぐための柵を1.8kmにわたって設置しました。

当日の夢大地応援団員の内訳は、一般団員9名、企業の地域社会貢献活動として参加した大和ハウス工業(株)宇都宮支社従業員10名、栃木明治牛乳(株)従業員9名、県農政部や高根沢町産業課の職員7名からです。開会式で田中会長から歓迎のあいさつを受けた後、6班に分かれて山林内に入りました。応援団員はその後、各班長から作業の手順を教わり、メッシュ柵を運ぶ人、柵を鉄の支柱に結束する人などの担当に分かれて、次々とフェンスをつないでいきました。

昼食は、公民館で地元の女性たち手づくりのカレーライスが振る舞われました。食事後は、参加者間で交流を図り、午後も約1時間半、作業を行いました。

閉会式では田中会長から「皆さんのお陰で計画通りの作業ができた。ぜひ鳥羽新田にまた遊びに来てください」とお礼の言葉がありました。また、参加した会社の代表からは「楽しんで作業ができた。また機会があれば参加したい」と感想が語られました。



地元の人たちを含め総勢63名が参加しました（鳥羽新田公民館前で）



開会式であいさつする田中会長
（写真中央）



開会式の後、6班に分かれて作業の打合せ



みんなで協力して次々とフェンスをつないでいきます





約1.8Kmにわたってきれいに張られたフェンス



昼食は公民館前の庭にブルーシートを張って
その上で食べました



地元の女性たちが作ったカレーライス。
お代わり続出でした



ボランティアの感想を述べる参加企業代表の2人